

プライベートLTE (sXGP) 導入事例

国際親善総合病院 様

PHSに代わり、プライベートLTE(sXGP)を導入 医療機器への影響が少なく、災害に強い院内音声ネットワークを実現



国際親善総合病院
経営企画室 室長
田崎 雅也 氏



国際親善総合病院
薬剤部 部長 兼
医療情報課 課長
梅田 清隆 氏

事例のポイント

課題背景

- PHSでの通話のつながりにくさを改善したい
- 医療機器や電子カルテで利用するWi-Fiに影響の少ない院内音声ネットワークを導入したい
- 万一、災害が発生し公衆回線が使えなくなっても、院内の通話環境を維持したい

成果

- PHSの特徴を受け継ぐsXGPによって安全で安定した通話環境を構築
- PHSと同じ1.9GHzの周波数帯を用いることによって、医療機器に影響が少ない安全性を実現
- オンプレミスの院内音声ネットワークで、公衆回線の障害時にも利用可能な院内音声通話環境を実現



International Goodwill Hospital

お客様名: 社会福祉法人 親善福祉協会
国際親善総合病院
所在地: 〒245-0006 神奈川県横浜市泉区
西が岡1丁目28番地1
病床数: 287床(一般 287床)
開設時期: 開設年 1863年4月/
移転開院 1990年5月8日
総職員数: 常勤597人/非常勤212人
(2022年4月時点)
病院紹介: 横浜市泉区唯一の総合病院として救急医療や地域完結型のがん医療など急性期医療を中心に、地域住民の方々のご負担にお応えしております。



導入ソリューション

●国際親善総合病院様の導入システム



